

議 長
確認印

議会運営委員会会議録

1、開会の日時 閉 会	平成 29 年 9 月 14 日 14 : 28 平成 29 年 9 月 14 日 14 : 43
2、場 所	委員会室
3、出席した委員	割貝寿一、小林達信、鈴木安次、鈴木 茂、吉田克則
4、欠席した委員	なし
5、出席を要求した者	副議長
6、職務のため出席した者	議長、 事務局長、書記
7、付議事件	第 1 定例会の検証について
8、議事の経過	<p>小林達信副委員長が開会 割貝寿一委員長あいさつ 第 1 定例会の検証について 委員長：定例会の検証を行う。会期は問題なかったと思う。 鈴木安次委員：タブレットは活用されたかとあるが、使っていないのでは。 事務局長：提出された書類をタブレットに入れてあるので見て下さいということ。 いつも同じ項目なので記載されている。 委員長：3、4 日目一般質問はどうか。 鈴木茂委員：時間の延長が 3 人あった。 小林委員：アンケートにも時間内に終わってほしいとあった。 委員長：質問時間は多めに通告したほうがいい。 吉田委員：予算決算委員会での通告について、通告外の質問でも町側は答弁ができて いる。通告する意味がないと思う。 委員長：なるべく通告をすること。通告外は再質問なしの 1 回限りとしている。以 前は通告していないと通告外の質問は出来なかったと思う。 小林委員：その後、1 回限りの通告外をできるように変更した。 鈴木茂委員：通告することによって町側の答弁もスムーズになる。 委員長：通告外については、委員長判断で町側が答えられるならば許す。答弁でき ないときは拒否できるとしてはどうか。 小林委員：吉田(克)議員の質問は、数字的に細かすぎる質問であり課長等の答弁が 止まってしまった。どうしても聞きたいなら細かく通告するなどしたほうがよい。 スムーズな委員会運営に協力願う。 また、一般質問で他地区についての質問の際、地元議員とは話をしているのか。 (話はしている声あり) 小林委員：していれば問題はない。 鈴木安次委員：質問に対して適切な答弁だったかということであるが、全く守って いない。アンケートでも町長の答弁について意見が多い。</p>

委員長：質問者も最後まではっきり話してから席に着くようにするとよい。

鈴木安次委員：議長名で提出したほうがよいと思う。

議長：アンケート結果をこのまま町長に提出してはどうか。

委員長：他にあるか。

(なし)

委員長：これで議事を終わる。

副委員長閉会

埴町議会委員会条例の第 27 条の規定により署名する。

平成 年 月 日

議会運営委員長